

事務事業評価調書

事務事業名	原爆被爆者支援活動補助事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正 内容	補助対象経費											
(2)	直近の改正	平成16年度													
(3)	根拠法令等	吹田市社会福祉活動補助金交付要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市原爆被害者の会												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	原子爆弾被爆者支援活動に要する経費に対して補助金を交付し、活動を支援します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	原子爆弾被爆者支援活動の推進が図られます。													
(7)	事業概要	原子爆弾被爆者に対する相談活動、被爆者の生活支援に係る広報活動、被爆者健康診断の援助活動など原子爆弾被爆者支援活動の推進に要する経費の支出額に対して、16万円を限度として補助します。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	2	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		160	160	160	160	160							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		990	955	996	996	977							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		(内訳)	市負担(D)		990	955	996	996	977						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			990	955	996	996	977								
財源計(C+D)		990	955	996	996	977									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市原爆被害者の会										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/		
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00					
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/		
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00					
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	原爆被害者の会の活動に対し補助します。			目標	原子爆弾被爆者支援活動を支援し、福祉の増進を図ります。		
	②	成果内容	原爆被害者の会の活動として、原子爆弾被爆者に対する相談活動、生活支援に係る広報活動、健康診断の援助活動が実施されました。			達成状況	原子爆弾被爆者の高齢化により健康不安等の諸問題が増加する中、相談活動等の支援は被爆者にとって重要なものです。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明		被爆から70年が経過し、原子爆弾被爆者の高齢化に伴う健康不安などの諸問題が発生しており、今後も被爆者の健康の保持と福祉の増進を図っていくことが求められています。今後も被爆者の相互支援を目的とした吹田市原爆被害者の会の活動に補助することで、身近な相談・支援体制を確保していくことが必要です。						

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	原爆被爆者支援活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00337				

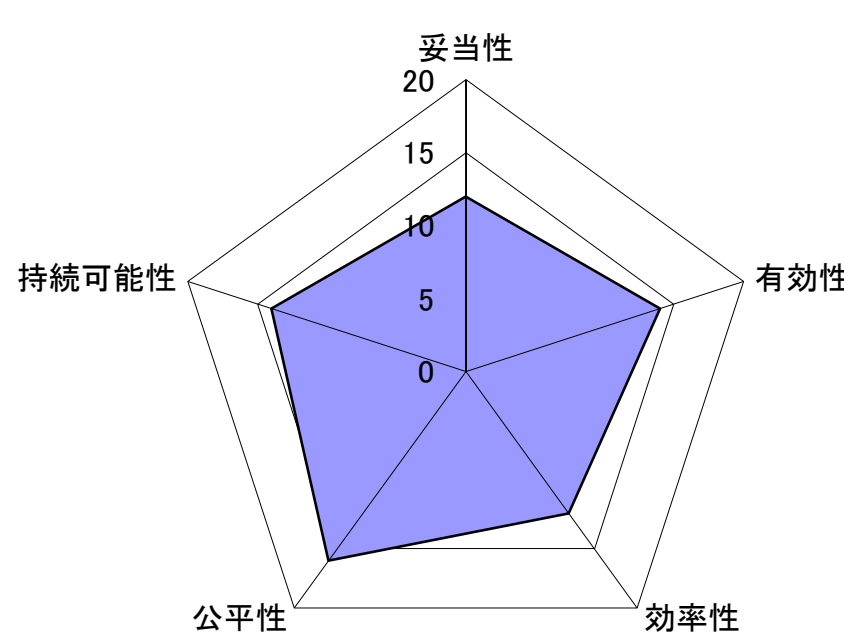
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	68	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00337
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>交付団体である吹田市原爆被害者の会は、毎週、市役所で原爆被爆者に対する相談活動を実施し、被爆者に関する相談のほか、相互に情報交換を行う場としての役割も担っています。</p> <p>また、被爆者の生活支援に係る広報活動として、会報「すいせん」を年2回発行し、春と秋には、市内医療機関にて被爆者健康診断の援助活動も実施しています。</p> <p>これらの被爆者支援に関する活動のほか、被爆の凄惨な体験を現代に伝え、核兵器の根絶と世界平和の実現に向けた役割も果たしています。</p> <p>被爆から70年が経過し、被爆者の高齢化が進む中、健康に対する不安は年々増加しているため、個別の相談や支援体制が今後必要となっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	原爆被爆者診療等旅費補助事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和48年度	改正 内容	補助対象経費、補助金額、補助対象施設の見直し											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市原子爆弾被爆者の診療等の受診に係る旅費補助金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市に引き続き一年以上居住する原子爆弾被爆者												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	原子爆弾被爆者の健康回復、保持のために原爆病院等での診療及び健康診断に要する旅費を補助します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	原子爆弾被爆者の健康回復、保持が図られます。												
(7) 事業概要	市長が指定する原爆病院等での診療及び健康診断を受ける者に対して、その旅費の一部を一人21,000円を上限として補助します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	2	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		672	0	525	0	420							
	人件費	職員数	人	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10						
		総額(B)	千円	830	0	836	0	817						
	総事業費(A+B)		1,502	0	1,361	0	1,237							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		1,502	0	1,361	0	1,237							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		1,502	0	1,361	0	1,237								
財源計(C+D)		1,502	0	1,361	0	1,237								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	原子爆弾被爆者											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	診療等旅費補助交付人数	目標値	(単位:人)	32.00	25.00	/
			実績値	(単位:人)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	本事業により原子爆弾被爆者の健康管理を目的とした専門機関の受診につながります。			達成状況	被爆者の高齢化に伴う健康不安が増す中、被爆者の健康回復、保持が図られています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>平成23年度に行政の維新プロジェクトとして取り組んでいる事業見直しの実施方針に基づき、見直し対象事業として検討した結果、他の府内の特例市では実施されていない事業ではありますが、原子爆弾の放射能に起因する健康被害に苦しむ被爆者の健康回復、保持を図る趣旨に鑑み、事業内容を見直したうえで継続することとなりました。</p> <p>被爆から70年の歳月が経過し、被爆者の高齢化に伴う健康不安などの諸問題が発生しており、今後も被爆者の健康の保持と福祉の増進を図る事業が必要です。</p>
	評価の説明							

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	原爆被爆者診療等旅費補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00338				

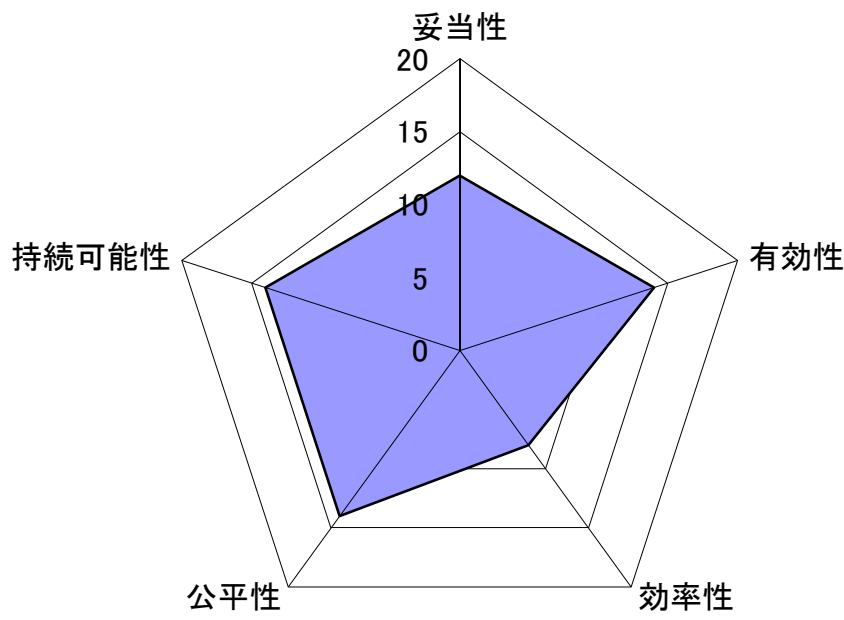
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	8	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	62	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00338
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	12	有効性	10	効率性	8	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	12														
有効性	10														
効率性	8														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>当該事業は吹田市内に1年以上在住している原爆被爆者が、健康の回復、保持を目的に市長が指定する原爆病院等での診療及び健康診断を受けた場合に、旅費を一部補助するものです。専門施設による診療、健康診断を実施することで、原爆被爆者の健康の増進、保持を図ることができます。 近年は、申請がないため、本事業の広報活動を行い、本制度の利用促進を図る必要があります。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	原爆被爆者二世支援事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成13年度	改正内容	医療費助成受給のための所得要件の変更											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市被爆者二世医療費助成金支給要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市内に居住する原子爆弾被爆者の二世												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	健康診査の受診機会の確保及び原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律施行規則第51条に定める障害を伴う疾病と同様の疾病に対する医療費(自己負担額)の助成												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	原子爆弾被爆者二世の健康の保持及び福祉の増進が図られます。												
(7) 事業概要	市内に居住する原子爆弾被爆者二世に対し、国が実施する健康診査の定員枠外となり受診できない者への健康診査を補完します。そのほか、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律施行規則第51条に定める障害を伴う疾病と同様の疾病についての医療費の自己負担額を助成します。(市民税非課税世帯に属するものが対象)													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	2	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,579	1,531	1,579	1,428	1,579							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20							
		総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671							
	総事業費(A+B)		3,239	3,121	3,250	3,099	3,213							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		3,239	3,120	3,250	3,099							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		3,239	3,120	3,250	3,099									
財源計(C+D)		3,239	3,120	3,250	3,099	3,213								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	医療費助成の申請者数(重複なし)	目標値	(単位:人)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:人)	14.00	12.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	医療機関で受診した対象者からの申請を受けて交付するものであるため、目標値の設定は不可能です。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		222.93	258.25	
				一般財源(単位:千円)		222.93	258.25	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	医療費が助成されることにより原子爆弾被爆者二世は安心して医療を受けることができ、健康回復・保持につながります。			達成状況	助成対象者からの申請は変わらずにあり、原子爆弾被爆者二世の健康に関する不安を軽減する効果は大きいといえます。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成23年度に行政の維新プロジェクトとして取り組んでいる事業見直しの実施方針に基づき、見直し対象事業として検討した結果、他の府内の特例市では実施されていない事業ではありましたが、原子爆弾被爆者二世の健康保持と福祉の増進を図るという趣旨を考慮し、事業内容を見直したうえで継続することとなりました。 原子爆弾被爆者二世に対しての国の支援は、大阪府吹田保健所で実施している年1回の健康診断のみですが、被爆から70年の歳月が経過し、原子爆弾被爆者二世についても高齢化が進み、健康に対する不安が今後問題視されていくことが考えられるため、引き続き実施していく必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	原爆被爆者二世支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00339				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	68	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00339
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	15	有効性	18	効率性	10	公平性	5	持続可能性	12
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	15														
有効性	18														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	12														
(3)現状分析	<p>平成27年度において被爆者二世の登録人数は340人、医療費助成延利用件数は121件となっています。制度発足以降、被爆者二世の登録者数、医療費助成件数、医療費助成額は増加していましたが、平成23年度に行った事業見直しにより、対象者の所得要件の変更を行った結果、制度の適正化が図られ、医療費助成件数、医療費助成額は減少しました。しかし、医療費が高額になる対象者の増加などから件数、助成額とも増加傾向にあります。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公害認定審査事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和49年度	改正 内容	委員定数を「15人以内」から「13人以内」に変更											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	1	細節	15							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	法により認定された公害健康被害被認定者等												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	認定更新申請や各種補償給付の請求に係る審査を行います。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	公害健康被害被認定者等の迅速かつ公正な保護及び健康の確保を図ります。												
(7) 事業概要	市長からの諮問に応じて公害健康被害認定審査会を開催し、公害健康被害被認定者等の認定更新申請や各種補償給付の請求に係る審査を行うものです。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	10	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		6,629	6,205	6,704	6,111	9,071							
	人件費	職員数	人	0.95	1.32	0.95	0.95	1.00						
		総額(B)	千円	7,885	10,491	7,935	7,935	8,170						
	総事業費(A+B)		14,514	16,696	14,639	14,046	17,241							
	特定財源(C)		6,629	9,226	6,704	5,221	9,071							
	(内訳)	国	6,629	9,226	6,704	5,221	8,350							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	721							
	市負担(D)		7,885	7,469	7,935	8,825	8,170							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	7,885	7,469	7,935	8,825	8,170							
財源計(C+D)		14,514	16,695	14,639	14,046	17,241								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	審査件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	266.00	213.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	法定受託事務のため、目標値の設定にはなじまないと考えます。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	62.77	65.94		
				一般財源(単位:千円)	39.44	41.43		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	目標値、実績値ともに0ですので、達成度は100%となります。			目標		目標値、実績値ともに0ですので、達成度は100%となります。
	②	成果内容	公害健康被害被認定者の迅速かつ公正な保護及び健康の確保につながっています。			達成状況	実績の把握が困難なため、達成状況は把握できませんが、被認定者の迅速かつ公正な保護などに一定程度寄与していると考えます。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本事業については法律によって市が事務を処理することが義務付けられているため、今後も継続して実施していくべき事業であると考えます。					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	公害認定審査事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00342				

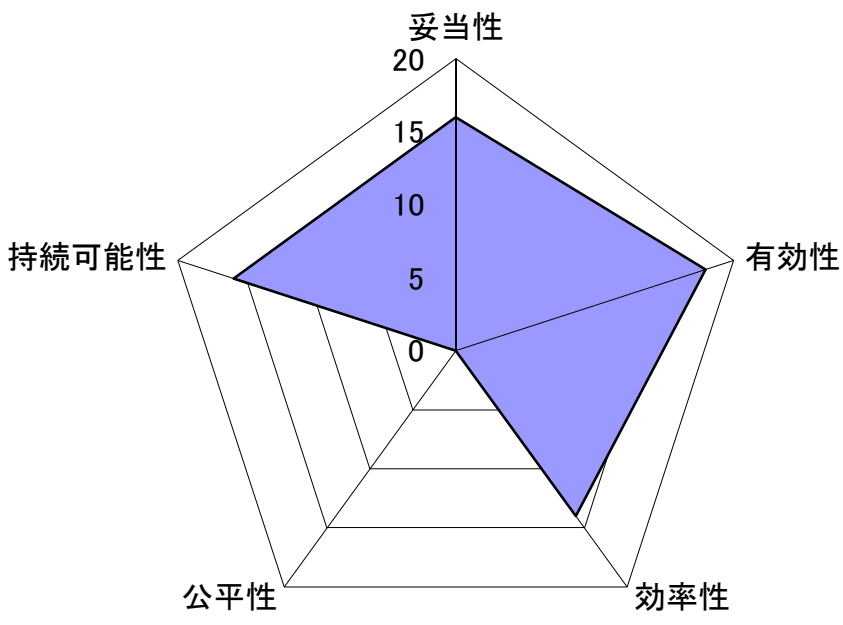
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00342
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業については、市長からの諮問に応じて公害健康被害認定審査会を開催し、大気汚染の影響による健康被害に係る損害を填補するために法により認定された公害健康被害被認定者等に対して、認定更新申請や各種補償給付の請求に係る審査を行うもので、法律によって市が事務を処理することが義務付けられているため、今後も継続して実施していくべき事業であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公害診療報酬審査事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和49年度	改正内容	行政経営部企画政策室から示された「附属機関等の見直しに関する基本的な考え方」に基づき、公害診療報酬審査委員会の位置付けを意見聴取を目的とする懇談会等に改めました。											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	1	細節	15							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公害健康被害被認定者に対して療養の給付を担当した公害医療機関等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	公害診療報酬等の請求に係る審査を行い、適正と認められた診療内容等に対して報酬を支払います。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	公害健康被害被認定者の迅速かつ公正な保護及び健康の増進を図ります。												
(7)	事業概要	市長からの諮問に応じて、月に一度公害診療報酬審査委員会を開催し、法により認定された公害健康被害被認定者に対して療養の給付を担当した公害医療機関等からの公害診療報酬等の請求に係る診療内容等を審査するものです。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	10	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		544	543	790	769	1,434							
		人件費	職員数	人	0.50	0.80	0.50	0.50	0.45						
			総額(B)	千円	4,150	6,358	4,176	4,176	3,677						
		総事業費(A+B)		4,694	6,901	4,966	4,945	5,111							
		特定財源(C)		544	807	790	662	1,434							
		(内訳)	国	544	807	790	662	1,434							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		4,150	6,094	4,176	4,283	3,677							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	4,150		6,094	4,176	4,283	3,677									
財源計(C+D)		4,694	6,901	4,966	4,945	5,111									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	審査件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	3,308.00	3,210.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	法定受託事務のため、目標値の設定にはなじまないと考えます。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.09	1.54	
				一般財源(単位:千円)		1.92	1.33	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	目標値、実績値ともに0ですので、達成度は100%になります。			目標		目標値、実績値ともに0ですので、達成度は100%になります。
	②	成果内容	公害健康被害被認定者の迅速かつ公正な保護及び健康の確保につながっています。			達成状況	実績の把握が困難なため、達成状況は把握できませんが、被認定者の迅速かつ公正な保護などに一定程度寄与していると考えます。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>本事業については法律によって市が事務を処理することが義務付けられているため、今後も継続して実施していくべき事業であると考えます。</p> <p>ただし、平成26年度に実施された環境省指導監査において、公害診療報酬審査委員会で審査する公害診療報酬明細書、公害調剤報酬明細書、公害訪問看護報酬明細書の点検業務を市職員で行っていることに対して、非常に珍しい事例であり、通常は医療事務を行う業者に委託している場合がほとんどであるとの意見がありました。これを受けて、業務のあり方について検討した結果、職員の経験知頼みで点検業務を行うことは適切ではないとの結論に至り、平成28年度から点検業務を業務委託することとしました。</p>					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	公害診療報酬審査事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00343				

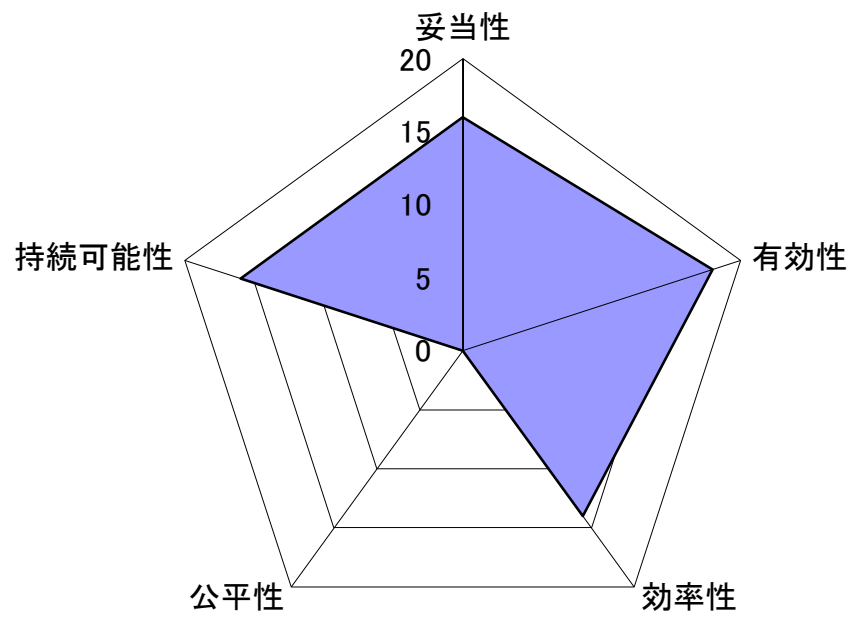
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00343
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業については、市長からの諮問に応じて月に一度公害診療報酬審査委員会を開催し、法により認定された公害健康被害被認定者に対して療養の給付を担当した公害医療機関等からの公害診療報酬等の請求に係る診療内容等を審査するもので、法律によって市が事務を処理することが義務付けられているため、今後も継続して実施していくべき事業であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	補償給付事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和49年度	改正内容	補償給付額の改正											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	1	細節	15							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	法により認定された公害健康被害被認定者等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	大気汚染の影響による健康被害に係る損害を填補するための補償を行います。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	法により認定された公害健康被害被認定者等の迅速かつ公正な保護及び健康の確保を図ります。													
(7)	事業概要	法により認定された公害健康被害被認定者に対して、大気汚染の影響による健康被害に係る損害を填補するための補償として、障害補償費・療養手当の支給、療養の給付を行います。 また、法により認定された公害健康被害被認定者が指定疾病に起因して死亡した場合、その一定範囲の遺族に対して、遺族補償費、遺族補償一時金、葬祭料の支給を行うものです。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	10	大事業	3	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		346,673	292,356	339,067	281,894	326,683							
		人件費	職員数	人	0.50	0.80	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,150	6,358	4,176	4,176	4,085						
		総事業費(A+B)		350,823	298,714	343,243	286,070	330,768							
		特定財源(C)		346,673	292,356	339,067	281,894	326,683							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	346,673	292,356	339,067	281,894	326,683							
		市負担(D)		4,150	6,358	4,176	4,176	4,085							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	4,150		6,358	4,176	4,176	4,085									
財源計(C+D)		350,823	298,714	343,243	286,070	330,768									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	補償給付支給件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	6,217.00	5,942.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	法定受託事務のため、目標の設定になじまないと考えます。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	48.05	48.14		
				一般財源(単位:千円)	1.02	0.70		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
①	活動内容	目標値・実績値ともに0ですので、達成度は100%となります。			目標	目標値・実績値ともに0ですので、達成度は100%となります。		
	②	成果内容	公害健康被害被認定者の救済につながっています。			達成状況	実績の把握が困難なため、達成状況は把握できませんが、被認定者の病状・保持及び増進に一定程度寄与していると考えます。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		公害健康被害被認定者の権利を守るとともに事務効率の改善に努めていきたいと考えており、本事業については法律によって市が事務を処理することが義務付けられているため、今後も継続して実施していくべき事業であると考えます。					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	補償給付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00344				

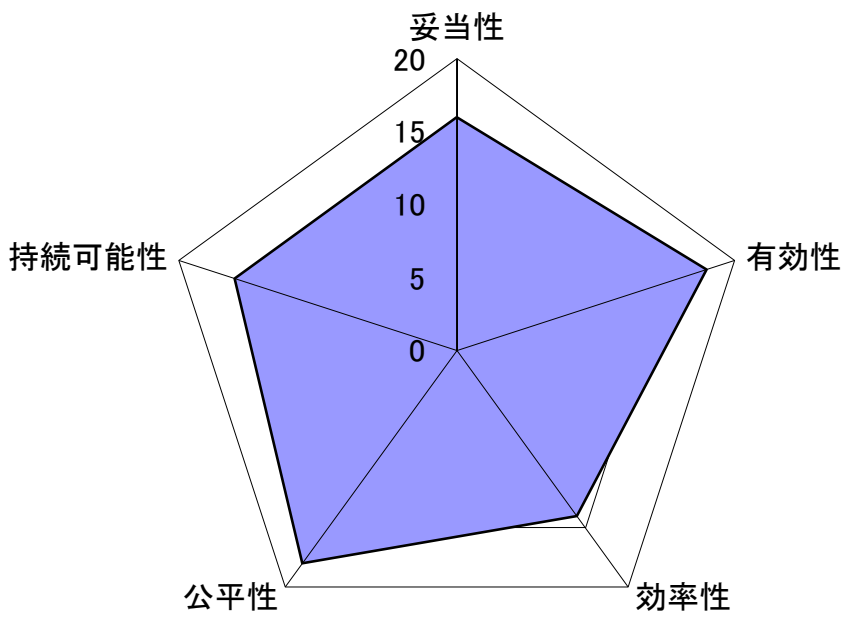
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00344
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公害健康被害の補償等に関する法律が施行されてから年月が経ち、公害健康被害被認定者の高齢化が進んでいます。</p> <p>補償給付制度に関する各種手続き等について、より一層、分かりやすく周知していくことで、公害健康被害被認定者の権利を守るとともに事務効率の改善に努めていきたいと考えます。</p> <p>本事業については法律によって市が事務を処理することが義務付けられているため、今後も継続して実施していくべき事業であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	医療費助成支給事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和63年度	改正 内容	要綱の廃止(廃止前に認定を受けた者については、有効期間満了までの間、経過措置あり)											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市大気汚染に係る特定疾病患者に対する医療費の助成に関する要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	1	細節	15							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	要綱により認定された大気汚染に係る特定疾病患者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	医療費の一部を助成します。												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	要綱により認定された大気汚染に係る特定疾病患者の健康の保持及び福祉の増進を図ります。												
		本市南部地域の大気汚染のより一層の改善が図られるまでの間、要綱により認定された大気汚染に係る特定疾病患者に対し、医療費の一部を助成します。助成額は、認定された指定疾病について受けた医療の自己負担すべき額とします。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	10	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,239	2,845	216	113	149							
		人件費	職員数	人	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01						
			総額(B)	千円	83	159	84	84	82						
		総事業費(A+B)		3,322	3,004	300	197	231							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		3,322	3,004	300	197	231							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	3,322		3,004	300	197	231									
財源計(C+D)		3,322	3,004	300	197	231									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	医療費の支払い件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	822.00	7.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	申請を受けて処理するものであり、目標値の設定にはなじまないと考えます。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.65	28.14		
				一般財源(単位:千円)	3.65	28.14		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
①	活動内容	目標値、実績値ともに0であり、達成度は100%となります。			目標	目標値、実績値ともに0であり、達成度は100%となります。		
	②	成果内容	要綱により認定された大気汚染に係る特定疾病患者の健康の保持及び増進につながっています。			達成状況	実績の把握が困難なため、達成状況は把握できませんが、患者の病状の回復・保持及び増進に一定程度寄与していると考えます。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本事業については、医療費助成認定審査事業(平成25年度にて廃止)において平成25年3月末をもって新規・更新申請の受付を終了し、最終認定満了日を平成27年3月31日と定めたもので、それ以後は医療機関等からの請求遅れに対応できるよう診療報酬請求の時効にならって3年の支払い対応期間満了後の平成29年度で廃止するものです。					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	医療費助成支給事業	事業区分	その他
事務事業番号	00345				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	10	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 c. 特定の者を対象としており、受益者以外の市民から見て、理解が得られにくい。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	8	②サービスの水準は適正ですか。 c. サービスの水準が高いが、受益者以外の市民には理解が得られにくい。(1点)	1	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	54	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00345
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業については、医療費助成認定審査事業(平成25年度にて廃止)において平成25年3月末をもって新規・更新申請の受付を終了し、最終認定満了日を平成27年3月31日と定めたもので、それ以後は医療機関等からの請求遅れに対応できるよう診療報酬請求の時効にならって3年の支払い対応期間満了後の平成29年度で廃止するものです。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	家庭療養指導事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和50年度	改正 内容	訪問対象者地域を市内旧第一種地域(旧公害指定地域)から市内全域に変更											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明		法定受託事務であるが、事業実施について自治体には選択権があります。											
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	1	細節	15							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	法により認定された公害健康被害被認定者(市内在住者)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	保健師等が家庭訪問を行い、法により認定された公害健康被害被認定者が各々の病状について理解を深め、適切な治療や環境整備等を行えるよう助言します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	法により認定された公害健康被害被認定者の病状回復の促進を図ります。													
(7)	事業概要	法により認定された公害健康被害被認定者に対し、保健師等が家庭訪問を行い、日常生活指導や保健指導等を実施するものです。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	11	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,407	806	1,402	931	1,272							
		人件費	職員数	人	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01						
			総額(B)	千円	83	159	84	84	82						
		総事業費(A+B)		1,490	965	1,486	1,015	1,354							
		特定財源(C)		695	502	690	502	677							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		695	502	690	502	677						
		市負担(D)		795	463	796	513	677							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			795	463	796	513	677								
財源計(C+D)		1,490	965	1,486	1,015	1,354									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	訪問指導件数	目標値	(単位:件)	213.00	208.00	202.00
			実績値	(単位:件)	156.00	149.00	/	
		達成度(%)		73.2	71.6			
	目標値の積算方法	年度当初、市内在住の被認定者数×在宅率(80/100)×2回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6.19	6.81		
				一般財源(単位:千円)	2.97	3.44		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	公害健康被害被認定者の高齢化が進んでおり、個々の病状においては、認定疾病だけでなく他疾病の併発等も認められ、保健師等が指導を行うだけでなく被認定者からの積極的な相談も見られます。			達成状況	適切な保健指導等を行うことにより、被認定者の病状回復・保持に一定程度寄与していると考えます。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	本事業については、保健師等が公害健康被害被認定者各々の病状や治療状況、生活状況に応じ、個別にきめ細やかな保健指導を行い、健康の保持、回復及び増進を図っており、公害保健福祉事業において最も重要な事業であるため、継続と評価します。						

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	家庭療養指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	00346				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00346
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>公害健康被害被認定者(以下、被認定者)にとって、認定疾病との付き合いは長年に及ぶものなので、被認定者は各自の病状について十分な知識を有していると考えられがちです。しかし、以前と比べて薬剤の進歩等により治療方法も変化してきている中で、誤った理解をしていたり、理解していても日常生活に適切に反映できていないケースが認められます。また、被認定者の高齢化が進んでおり、認定疾病以外の疾患の併発等も多くなっていることが認定審査会や公害レセプト等からも確認でき、ますます病状の回復が困難なものとなる傾向にあります。こうした状況のもとで、本事業については、保健師等が被認定者宅を訪問し、各個人ごとの病状や治療、生活状況に応じて、細やかな保健指導を行うことができ、公害保健福祉事業において非常に重要な事業となっています。ただし、効率性の観点から、保健センターや地域包括支援センター等との連携した取り組み等が今後の検討課題と考えます。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	インフルエンザ予防接種費用助成事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正内容	季節性、新型を問わず、又、予防接種法(昭和23年法律68号)に基づく定期予防接種であるか否かを問わず、全てのワクチンで65歳以上という年齢制限を撤廃し、公害健康被害被認定者全員が対象となります。											
(2)	直近の改正	平成23年度													
(3)	根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明		法定受託事務であるが、事業実施については自治体に選択権があります。											
(5)	総合計画の体系	章	5	環境を守り育てるまちづくり	節	1	細節	15							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	法により認定された公害健康被害被認定者のうち、一定要件を満たした者												
		目標(どういう状態にしたいのか)	インフルエンザに係る予防接種において自己負担する費用を助成することで、法により認定された公害健康被害被認定者の予防接種を促します。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	法により認定された公害健康被害被認定者の健康の保持を図ります。													
(7)	事業概要	季節性、新型を問わず、又、予防接種法(昭和23年法律第68号)に基づく定期予防接種であるか否かを問わず、インフルエンザに係る予防接種を指定期間内に受けた公害健康被害被認定者に対して、予防接種に係る費用の自己負担分を助成するものです。													
(8)	H27事業別予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	11	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		325	195	314	204	297							
		人件費	職員数	人	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01						
			総額(B)	千円	83	159	84	84	82						
		総事業費(A+B)		408	354	398	288	379							
		特定財源(C)		244	146	236	170	222							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		244	146	236	170	222						
		市負担(D)		164	208	162	118	157							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			164	208	162	118	157								
財源計(C+D)		408	354	398	288	379									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	予防接種を受けた対象者数	目標値	(単位:人)	199.00	191.00	184.00
			実績値	(単位:人)	89.00	78.00	/	
		達成度(%)			44.7	40.8		
	目標値の積算方法	対象者数 (本事業の対象とならない生活保護世帯者数及び市民税非課税世帯者数を含まず。)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.98		3.69
				一般財源(単位:千円)		2.34	1.51	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	インフルエンザへの罹患を防ぐことで、呼吸器疾患が増悪する要因を減らし、健康の保持につながっています。			達成状況	未接種者は少なくなく、改善の余地があるが、予防接種を受けた者については、一定程度、健康の保持に寄与していると考えます。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	本事業については、公害健康被害被認定者の健康の保持を目的とし、その実施意義は大きく、今後も継続して実施していくべき事業であると評価します。						

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	インフルエンザ予防接種費用助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00347				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00347
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>公害健康被害被認定者(以下、被認定者)をはじめとする呼吸器疾患を抱える者は、インフルエンザに罹患すると病状の重篤化を招きやすいとされており、被認定者の健康の保持に努めようとする本事業の実施意義はとても大きなものがあると思われまます。</p> <p>ただし、まだまだ予防接種を受けない被認定者も多いことから、インフルエンザ罹患による認定疾病への悪影響と予防接種の重要性について、家庭療養指導事業による訪問時の呼びかけや事業案内等で、今後も強く訴えていき、接種率の向上に努める必要があると考えます。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	おおさか・すいたハウス支援事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	平成23年度													
(3) 根拠法令等	吹田市おおさか・すいたハウス運営事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり											
	節	6												
	細節	30												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	公益財団法人ドナルドマクドナルドハウス・チャリティーズ・ジャパン											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	福祉行政の増進と医療環境の充実												
(7) 事業概要	遠隔地から心臓病などの難病のために国立循環器病研究センターに来て、入院や通院している子どもの患者とその付き添い家族が滞在する施設である、おおさか・すいたハウスの運営に対して支援する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	1	大事業	8	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,654	2,654	2,654	2,654	2,654							
	人件費	職員数	人	0.10	0.05	0.05	0.05	0.20						
		総額(B)	千円	830	398	418	418	1,634						
	総事業費(A+B)		3,484	3,052	3,072	3,072	4,288							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,484	3,051	3,072	3,072	4,288							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,484	3,051	3,072	3,072	4,288								
財源計(C+D)		3,484	3,051	3,072	3,072	4,288								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	公益財団法人ドナルド・マクドナルドハウス										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	部屋稼働率	目標値	(単位:%)	100.00	100.00	100.00
			実績値	(単位:%)	81.96	79.07		
		達成度(%)				82.0	79.1	
	目標値の積算方法	最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		42.08	38.85	38.85
				一般財源(単位:千円)		42.08	38.85	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)				0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	間接的に国立循環器病研究センターを支援することで、吹田市の地域医療を充実させる。				達成状況	地域医療の充実
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		おおさか・すいたハウスは社会貢献度の極めて高い施設であり、利用者の負担を最小限にとどめているため、運営には市の補助が不可欠である。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	おおさか・すいたハウス支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00570				

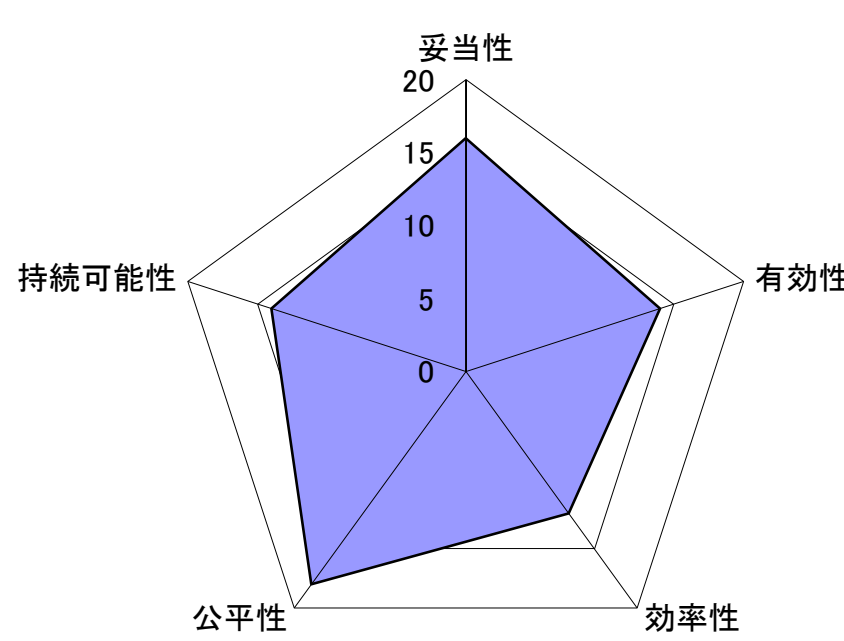
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00570
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>おおさか・すいたハウスは社会貢献度の極めて高い施設であり、利用者の負担を最小限にとどめるため、ボランティアの活用を図るなど事業の運営について努力している。 国立循環器病研究センターの医療技術を必要とする患者やその付き添い家族の滞在を支援することは、ナショナルセンターとして早急な循環器病の克服を目指す同センターの運営を間接的に支援することとなり、結果として本市の地域医療の充実につながる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国立循環器病研究センターが、平成30年度(2018年度)に北大阪健康医療都市(健都)への移転を予定していることに伴い、おおさか・すいたハウスも健都への移転を予定しているが、摂津市域への移転となることから、移転後の補助金のあり方について見直しを検討していく必要がある。

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市医療審議会運営事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和52年度	改正内容	審議会委員の議員への委嘱見直し											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	執行機関の附属機関に関する条例、吹田市医療審議会規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市民が安心して医療を受けることができる地域医療体制の整備												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	医療サービスの向上													
(7)	事業概要	救急その他医療関係諸問題についての重要事項を調査審議する													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		294	256	293	173	183							
		人件費	職員数	人	0.60	0.30	0.40	0.40	0.70						
			総額(B)	千円	4,980	2,385	3,341	3,341	5,719						
		総事業費(A+B)		5,274	2,641	3,634	3,514	5,902							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		5,274	2,640	3,634	3,514	5,902							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			5,274	2,640	3,634	3,514	5,902								
財源計(C+D)		5,274	2,640	3,634	3,514	5,902									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 審議会開催回数	目標値	(単位:回)	4.00	4.00	2.00	
			実績値	(単位:回)	4.00	2.00		
			達成度(%)		100.0	50.0		
	目標値の積算方法	予算上の開催回数(部会含む)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,256.25	1,757.00	
				一般財源(単位:千円)		1,256.25	1,757.00	
	②	指標内容 審議会延べ出席委員数(部会出席者含む)	目標値	(単位:人)	42.00	42.00	26.00	
			実績値	(単位:人)	38.00	23.00		
			達成度(%)		90.5	54.8		
目標値の積算方法	委員数×開催回数 委員数13人 (部会委員数6人)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		132.24	152.78		
			一般財源(単位:千円)		132.24	152.78		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	審議会で審議することにより、市民が安心して医療を受けることができる地域医療体制を整備する。			達成状況	本市の医療サービスの向上	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市民が健康で安心して暮らすことができるよう、迅速かつ適切な医療提供を可能とする地域医療体制の整備を図るうえで、本審議会の継続実施は必要である。					

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	吹田市医療審議会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00571				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00571
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>救急医療をはじめとする地域医療体制の整備・充実を図るために、医療関係者や学識経験者等による専門的な意見をもらう貴重な場となっている。また、2025年問題を見据えた在宅医療等の地域医療体制の構築のためにも、当審議会の役割は重要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年に「医療介護総合確保推進法」が成立し、医療機能の分化・連携や在宅医療の推進により、高度急性期医療から在宅医療まで切れ目のない地域医療体制の構築の必要が示され、2025年の医療需要に対する必要な医療提供体制を整備する「地域医療構想」を都道府県が策定することとされた。大阪府では平成28年3月に大阪府地域医療構想を策定。
また、介護保険法においても、地域包括ケアシステムの推進を目的に、地域支援事業として在宅医療・介護連携推進事業の実施が位置づけられ、在宅医療の推進を中心とした地域医療体制の充実についての市町村の役割が明確化された。

事務事業評価調書

事務事業名	岸部診療所運営協議会運営事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成2年度	改正 内容	平成28年4月1日の機構改革に伴う、所管課の名称及び委員構成の変更											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	岸部診療所運営協議会設置要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	安心して受診できる診療所の運営												
(7) 事業概要	市民の健康な暮らしを支える													
(7) 事業概要	岸部診療所の運営に関して必要な意見交換及び協議を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	1	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		86	69	86	43	86							
	人件費	職員数	人	0.20	0.05	0.10	0.10	0.40						
		総額(B)	千円	1,660	398	836	836	3,268						
	総事業費(A+B)		1,746	467	922	879	3,354							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		1,746	466	922	879	3,354							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		1,746	466	922	879	3,354								
財源計(C+D)		1,746	466	922	879	3,354								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 協議会開催回数	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	/
			実績値	(単位:回)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	予算上の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,659.00	879.00	
				一般財源(単位:千円)	1,659.00	879.00	
	②	指標内容 協議会委員延べ出席数	目標値	(単位:人)	13.00	13.00	
実績値			(単位:人)	9.00	6.00		
達成度(%)			69.2	46.2			
目標値の積算方法	委員×予算における開催回数 委員11人	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	184.33	146.50		
			一般財源(単位:千円)	184.33	146.50		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	岸部診療所運営協議会を開催し、岸部診療所の運営状況について意見交換及び協議を行う。			達成状況	安心して受診できる診療所の効果的かつ効率的な運営
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		岸部診療所については、平成27年(2015年)3月末をもって運営を休止しており、今後は診療所機能の廃止を含めた利活用方法について協議を実施する。今後の方向性が固まり次第、岸部診療所運営協議会に報告を行う。				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	岸部診療所運営協議会	事業区分	内部管理
事務事業番号	00572				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00572
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>岸部診療所については、平成27年(2015年)3月末に医療法人協和会が撤退して以降、診療所の運営が休止した状態が続いており、本協議会において、今後の岸部診療所の在り方について意見聴取が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会運営事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成25年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	地方独立行政法人法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり											
	節	6												
	細節	30												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	地方独立行政法人市立吹田市民病院											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	法人の実績評価を専門的、客観的かつ中立公正に行い、市へ報告する。												
(7) 事業概要	地方独立行政法人市立吹田市民病院の業務実績に関する評価を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	1	大事業	3	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		192	91	192	100	192							
	人件費	職員数	人	0.40	0.20	0.40	0.40	0.70						
		総額(B)	千円	3,320	1,590	3,341	3,341	5,719						
	総事業費(A+B)		3,512	1,681	3,533	3,441	5,911							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,512	1,680	3,533	3,441	5,911							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,512	1,680	3,533	3,441	5,911								
財源計(C+D)		3,512	1,680	3,533	3,441	5,911								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 評価委員会開催回数	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	3.00	
			実績値	(単位:回)	2.00	2.00		
			達成度(%)		66.7	66.7		
	目標値の積算方法	予算上の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,635.00	1,720.50	
				一般財源(単位:千円)		1,635.00	1,720.50	
	②	指標内容 評価委員会延べ出席委員数	目標値	(単位:人)	21.00	21.00	21.00	
実績値			(単位:人)	10.00	11.00			
達成度(%)			47.6	52.4				
目標値の積算方法		委員数(7人)×開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		327.00	312.82	
				一般財源(単位:千円)		327.00	312.82	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	評価委員会で評価することにより、市民が安心して医療を受けることができる地域医療体制を整備する。			達成状況	救急医療等の提供の継続	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		地方独立行政法人法に基づき、地方独立行政法人市立吹田市民病院が、引き続き公的役割を担いながら、市民に対して質の高い医療の提供を図るために、評価委員会の実施は必要である。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00573				

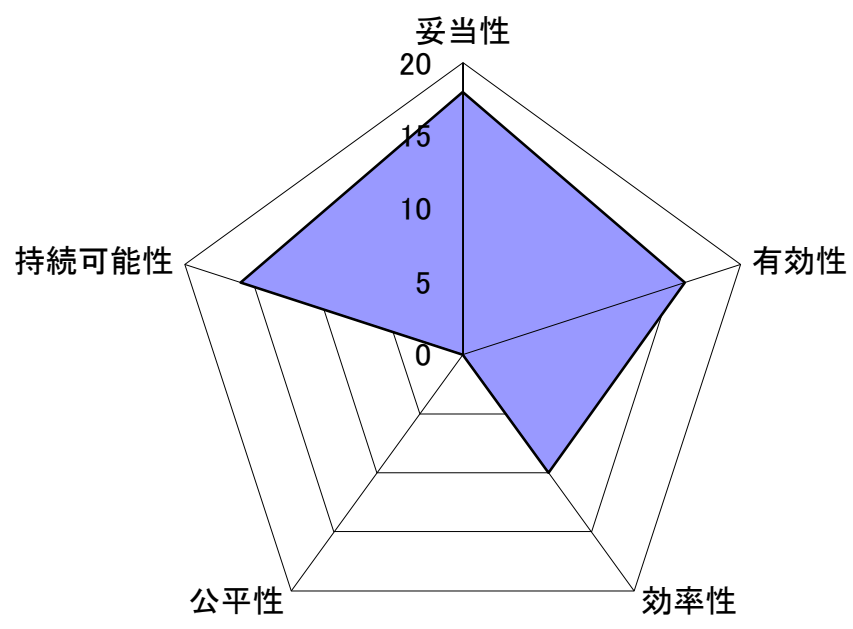
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00573
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地方独立行政法人制度において、法人の業務運営の仕組みは、法人の責任と権限において業務を行わせ、達成状況をチェックする目標による管理の考え方を根底としている。その中で、市民に質の高い医療を提供するために、法人の実績を専門的、客観的かつ中立公正に評価する評価委員会が担う役割は大きい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	豊能二次医療圏救急医療対策事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正 内容	病院群輪番制病院運営事業補助金に対する府補助が廃止された。											
(2) 直近の改正	平成17年度													
(3) 根拠法令等	豊能地域救急医療対策事業実施に関する覚書、豊能地域救急医療対策事業補助実施要綱(豊中市)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	豊能地域救急医療圏に属する二次救急医療機関											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	二次救急病院の健全な運営 地域における救急医療体制の確保												
(7) 事業概要	大阪府が設定した豊能地域救急医療圏に属する吹田市、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の4市2町が共同で救急医療対策事業を実施している、その負担金。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	14	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		14,550	14,546	14,540	14,554	14,578							
	人件費	職員数	人	0.10	0.05	0.05	0.05	0.10						
		総額(B)	千円	830	398	418	418	817						
	総事業費(A+B)		15,380	14,944	14,958	14,972	15,395							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		15,380	14,943	14,958	14,972	15,395							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		15,380	14,943	14,958	14,972	15,395								
財源計(C+D)		15,380	14,943	14,958	14,972	15,395								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	豊中市(4市2町取りまとめ)											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合	①	活動内容	休日、夜間等において、初期救急医療機関では対応できない入院治療を必要とする救急患者の受入			目標	左記患者の円滑な受入
	②	成果内容	救急傷病者の医療の確保			達成状況	救急傷病者の医療の確保
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平日の夜間、日曜、祝日、年末年始に入院を必要とする重症救急患者を受け入れる体制を整備することは、市民の安心安全な暮らしに直結することであり、必須の事業である。				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	豊能二次医療圏救急医療対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	00582				

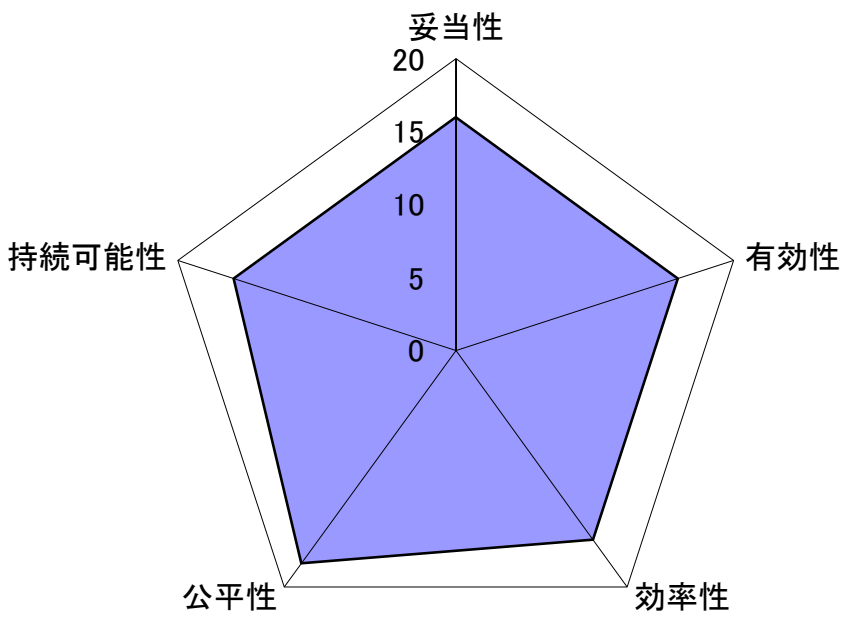
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00582
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>初期救急医療機関や救急患者の搬送機関等との円滑な連携体制のもとに、休日、夜間等における入院を必要とする重症救急患者を、豊能医療圏内の二次救急病院が共同連帯(輪番制方式)して受け入れる体制の整備を支援することにより、救急医療体制が維持されている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	豊能広域こども急病センター事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	豊能広域こども急病センター管理運営費負担金協定書													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	豊能広域こども急病センター											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	広域医療圏における一次救急と二次救急の機能分担を図ることにより、小児科医の不足をカバーし、より充実した救急医療体制にする。 機能分担により二次救急医療機関においては、二次救急に専念でき、より高度な医療サービスが提供でき、また、一次医療においても診療の待ち時間短縮等、より充実した医療サービスが提供できる。												
(7) 事業概要	豊能地域救急医療圏に属する吹田市、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の4市2町が共同で設立した「豊能広域こども急病センター」の運営費赤字分に対する負担金。こども急病センターは平日の夜間、日曜、祝日、年末年始に小児一次救急患者を診察する。小児の一次救急を整備することで、市民病院等の二次救急の負担を軽減し、また機能分担を図りより高度な充実した小児救急医療体制にする。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	14	大事業	6	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		22,060	5,278	22,220	17,474	21,908							
	人件費	職員数	人	0.10	0.05	0.05	0.05							
		総額(B)	千円	830	398	418	418							
	総事業費(A+B)		22,890	5,676	22,638	17,892	22,725							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	市負担(D)		22,890	5,675	22,638	17,892	22,725							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		22,890	5,675	22,638	17,892	22,725								
財源計(C+D)		22,890	5,675	22,638	17,892	22,725								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	一般財団法人箕面市医療保健センター											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	夜間・休日等、初期救急医療機関が対応できない時間帯における小児救急患者の受入			目標	左記患者の円滑な受入
	②	成果内容	二次救急の負担軽減と、機能分担による高度な充実した小児救急医療体制の確立			達成状況	二次救急の負担軽減、小児救急医療体制の確立
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平日の夜間、日曜、祝日、年末年始に小児一次救急患者を診療することにより、広域医療圏における一次救急と二次救急の機能分担を図り、小児科医の不足をカバーしている。一次医療において待ち時間短縮等、より充実した医療サービスの提供という観点においては、十分な成果を得ている。				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	豊能広域こども急病センター事業	事業区分	その他
事務事業番号	00583				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00583
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>小児救急医療を維持するため、同センターに時間外の小児救急診療を集約し、トリアージ機能を持たせることによって、市民病院等の二次救急医療機関における小児科は、夜間・休日も入院患者の診療に集中することができるようになり、より良い環境で適切な医療の提供ができるようになっている。 また、平成23年度から、深夜帯の看護師数や警備・清掃業務委託等について見直しを行うなど、積極的な経営改善に取り組んでいる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院運営費負担事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	地方独立行政法人法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	地方独立行政法人市立吹田市民病院												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地方独立行政法人市立吹田市民病院の健全経営												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民への安心安全な医療の提供													
(7)	事業概要	地方独立行政法人市立吹田市民病院に対し、公的医療等に係る運営費の一部を負担する。地方独立行政法人として運営される以上、独立採算を原則とすべきものではあるが、一方で、その性質上、当該法人の収入をもって充てることができない経費や能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることができない客観的に困難であると認められる経費については、地方独立行政法人法により設立団体である市が負担するものとされている。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	1	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		901,104	901,104	838,692	838,692	808,817							
		人件費	職員数	人	0.20	40.75	38.40	38.40	0.40						
			総額(B)	千円	1,660	323,841	320,717	320,717	3,268						
		総事業費(A+B)		902,764	1,224,945	1,159,409	1,159,409	812,085							
		特定財源(C)		0	323,451	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	323,451	0	0	0							
		市負担(D)		902,764	901,493	1,159,409	1,159,409	812,085							
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0									
	その他	0	0	0	0	0									
	一般財源	902,764	901,493	1,159,409	1,159,409	812,085									
財源計(C+D)		902,764	1,224,944	1,159,409	1,159,409	812,085									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 地方独立行政法人市立吹田市民病院における救急搬送受入件数	目標値	(単位:件)	4,076.00	4,304.00	/
			実績値	(単位:件)	4,620.00	4,105.00	
		達成度(%)		113.3	95.4		
	目標値の積算方法 地方独立行政法人市立吹田市民病院の中期計画及び年度計画における目標指標	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	195.39	282.44		
			一般財源(単位:千円)	195.39	282.44		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	市民が安心して医療を受けることができる地域医療体制を整備する。			達成状況	救急医療等の提供の継続
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市民が安心して医療を受けることができる地域医療体制を整備するためには、平成26年度(2014年度)から地方独立行政法人に移行した市立吹田市民病院が、引き続き公的医療を担っていくことが必要であり、今後も継続すべき事業である。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院運営費負担事業	事業区分	その他
事務事業番号	00620				

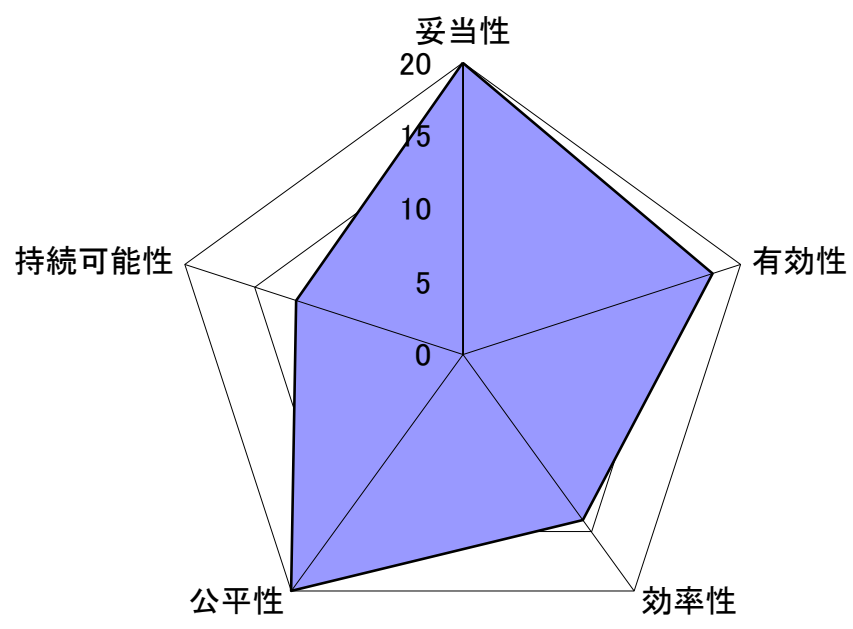
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00620
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>救急医療などの公的医療を安定的に提供するために、地方独立行政法人市立吹田市民病院に対する運営費の負担事業は必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業(病院事業債管理特別)				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	地方独立行政法人法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり											
	節	6												
	細節	30												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	地方独立行政法人市立吹田市民病院											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	起債により病院に対して貸付を行い、老朽化した病院の建替え及び医療機器の更新等を行う。 市民への安心安全な医療の提供												
(7) 事業概要	起債による、地方独立行政法人市立吹田市民病院に対する新市民病院建替等に係る貸付事業													
(8) H27事業別 予算コード	会計	15	款	1	項	1	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		122,800	80,300	391,000	60,600	621,800							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00							
		総額(B)	千円	0	0	0	0							
	総事業費(A+B)		122,800	80,300	391,000	60,600	621,800							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	市負担(D)		122,800	80,300	391,000	60,600	621,800							
	(内訳)	地方債		122,800	80,300	391,000	60,600	621,800						
		その他		0	0	0	0							
一般財源		0	0	0	0									
財源計(C+D)		122,800	80,300	391,000	60,600	621,800								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	地方独立行政法人市立吹田市民病院に対して適切な貸付を行う。			目標	地方独立行政法人市立吹田市民病院の安定的な運営。
	②	成果内容	地方独立行政法人市立吹田市民病院の新病院建設の推進。			達成状況	新病院建設用地における埋蔵文化財調査の実施。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地方独立行政法人市立吹田市民病院は、現在、吹田操車場跡地における新病院移転建替え事業を行っており、建替えには多額な費用が必要となることから、設立団体である市が長期貸付を行うことで、同病院の安定的な運営を図るものである。引き続き、市民に対して安心安全な医療を提供するためには、今後も当該事業を継続する必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業(病院事業債管理)	事業区分	その他
事務事業番号	00621				

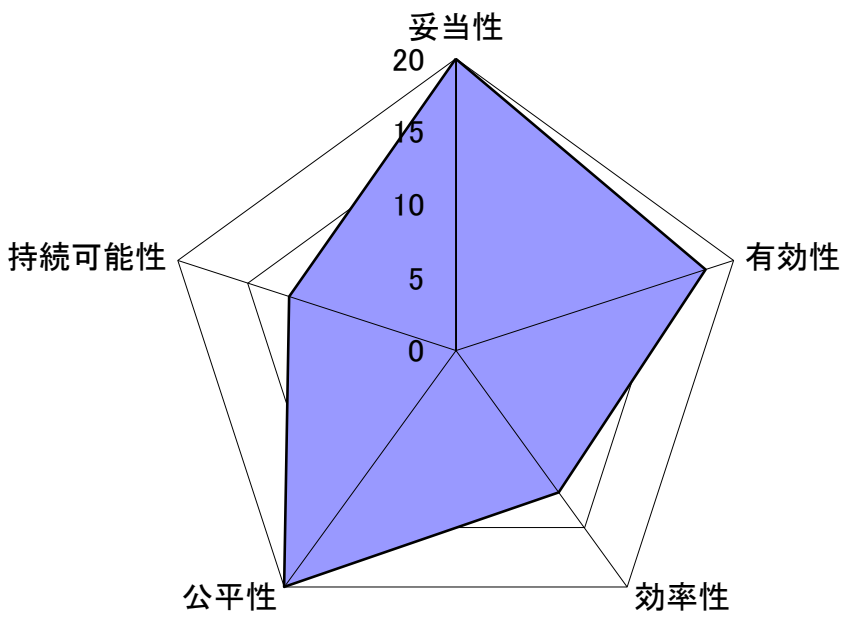
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00621
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地方独立行政法人法により、同法人は、設立団体である市からのみ長期借入ができるとされていることから、市民病院が新病院移転建替えの際に必要な多額な費用については、市が貸付を行うことで同病院の安定的な運営を図る効果がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	元金償還事業(病院事業債管理特別会計)				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	地方独立行政法人法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり											
	節	6												
	細節	30												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	病院事業債											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	長期債元金の適切な償還 地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業等の適切な財政運営												
(7) 事業概要	市民病院が地方独立行政法人に移行した際に市が承継した企業債及び地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業に係る長期債借入により発生する元金償還について、同法人からの元金償還金を充てて償還する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	15	款	2	項	1	目	1	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		248,873	249,082	241,760	241,759	223,098							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費(A+B)		248,873	249,082	241,760	241,759	223,098							
	特定財源(C)		248,873	249,082	241,760	241,759	223,098							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		248,873	249,082	241,760	241,759	223,098						
	市負担(D)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		248,873	249,082	241,760	241,759	223,098								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	病院事業債管理特別会計残高	目標値	(単位:千円)	3,898,455.00	4,004,386.00	4,060,089.00
			実績値	(単位:千円)	3,855,146.00	3,676,986.00	
			達成度(%)		98.9	91.8	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.06	0.07	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
①	活動内容	地方独立行政法人市立吹田市民病院からの元金返済を受けて償還を行う。			目標	長期債元金の適正な償還	
		地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業等の適正な財政運営			達成状況	適正な元金の償還及び事業の運営を行っている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地方独立行政法人市立吹田市民病院は、現在、吹田操車場跡地における新病院移転建替え事業を行っており、建替えには多額な費用が必要となることから、設立団体である市が長期貸付を行うことで、同病院の安定的な運営を図るものである。引き続き、市民に対して安心安全な医療を提供するためには、今後も当該事業を継続する必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	元金償還事業(病院事業債管理特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00622				

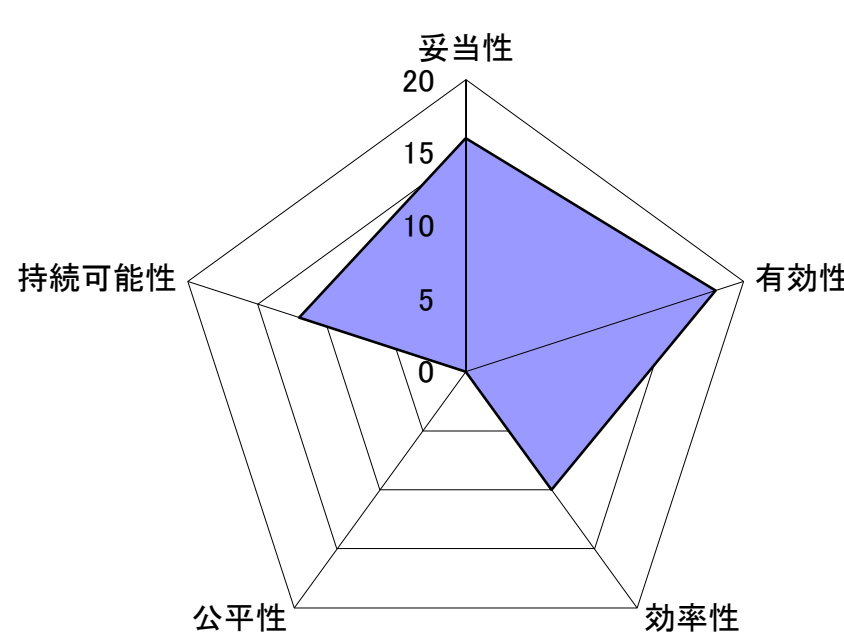
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00622
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成26年度(2014年度)に市民病院が地方独立行政法人に移行した際、市が承継した起債については、同病院から適切に返済されていることから、本市の償還事業においても適切な償還が行われている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	長期債利子償還事業(病院事業債管理特別会計)				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	地方独立行政法人法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり											
	節	6												
	細節	30												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	病院事業債											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	長期債利子の適切な償還 地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業等の適切な財政運営												
(7) 事業概要	市民病院が地方独立行政法人に移行した際に市が承継した企業債及び地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業に係る長期債借入により発生する利子償還について、同法人からの利子償還金を充てて償還する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	15	款	2	項	1	目	2	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		82,722	72,655	70,541	70,112	67,397							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費(A+B)		82,722	72,655	70,541	70,112	67,397							
	特定財源(C)		82,722	72,655	70,541	70,112	67,397							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		82,722	72,655	70,541	70,112	67,397						
	市負担(D)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		82,722	72,655	70,541	70,112	67,397								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	病院事業債管理特別会計残高	目標値	(単位:千円)	3,898,455.00	4,004,386.00	4,060,089.00
			実績値	(単位:千円)	3,855,146.00	3,673,986.00	
			達成度(%)		98.9	91.7	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.02	0.02	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難 な 場合 示 す		①	活動内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	②	成果内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
の3が困難な場合を示す	①	活動内容	地方独立行政法人市立吹田市民病院からの利子返済を受けて償還を行う。		目標	長期債利子の適正な償還	
	②	成果内容	地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業等の適正な財政運営		達成状況	適正な利子の償還及び事業の運営を行っている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地方独立行政法人市立吹田市民病院は、現在、吹田操車場跡地における新病院移転建替え事業を行っており、建替えには多額な費用が必要となることから、設立団体である市が長期貸付を行うことで、同病院の安定的な運営を図るものである。引き続き、市民に対して安心安全な医療を提供するためには、今後も当該事業を継続する必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	長期債利子償還事業(病院事業債管理特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00623				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00623
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成26年度(2014年度)に市民病院が地方独立行政法人に移行した際、市が承継した起債については、同病院から適切に返済されていることから、本市の償還事業においても適切な償還が行われている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	健康・医療のまちづくり事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室	室課長名	大川 雅博

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市民、医療関係者、企業関係者など												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりを推進する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の健康寿命の延伸 健康寿命の延伸した高齢者の生きがいがいづくりと地域の活性化												
(7) 事業概要	北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりを推進するために「北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議」を開催し、関係機関相互の連携等についての検討や、健康・医療のまちづくりの取組についての情報発信を行う。また、地域医療推進懇談会を開催し、今後の地域医療の在り方、在宅医療推進の環境づくり等について検討を進める。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	1	大事業	6	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,135	3,745	2,877	1,905	5,327							
	人件費	職員数	人	1.00	1.50	2.00	2.00	2.00						
		総額(B)	千円	8,300	11,921	16,704	16,704	16,340						
	総事業費(A+B)		11,435	15,666	19,581	18,609	21,667							
	(内訳)	特定財源(C)		0	918	409	0	0						
			国	0	0	0	0	0						
			府	0	0	0	0	0						
		その他	0	918	409	0	0							
	市負担(D)		11,435	14,748	19,172	18,609	21,667							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		11,435	14,748	19,172	18,609	21,667								
財源計(C+D)		11,435	15,666	19,581	18,609	21,667								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	シーレイシステム株式会社										
			②											
			③											
	主な委託内容		ポータルサイトの保守等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議等の開催回数	目標値	(単位:回)	3.00	6.00	/
			実績値	(単位:回)	4.00	4.00	
			達成度(%)		133.3	66.7	
	目標値の積算方法 平成27年度予算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,943.75	4,652.25		
			一般財源(単位:千円)	2,714.25	4,652.25		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	北大阪健康医療都市を中心としたまちづくりの推進のため、新たな地域医療の在り方などについて検討・情報発信を行う。			達成状況	会議を4回開催し、意見交換をしてきたものを取りまとめ、中間報告を行った。また、ポータルサイトにて健都の情報発信を行った。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>「北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議」を開催し、民間事業者を含めた関係機関の情報共有や、連携方法等の検討も行っている。今後も健康・医療のまちづくりを一体的に進めていくにあたっては、継続的な会議の開催が必要である。</p> <p>地域医療推進懇談会については、2025年の医療需要に対する必要な医療提供体制整備のために、地域医療の在り方や、在宅医療推進の環境づくり、かかりつけ医等の定着促進について、医療関係者や関係行政機関から意見をいただける場となっており、今後も懇談会の開催は必要である。</p>				

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室	事業名	健康・医療のまちづくり事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	1086				

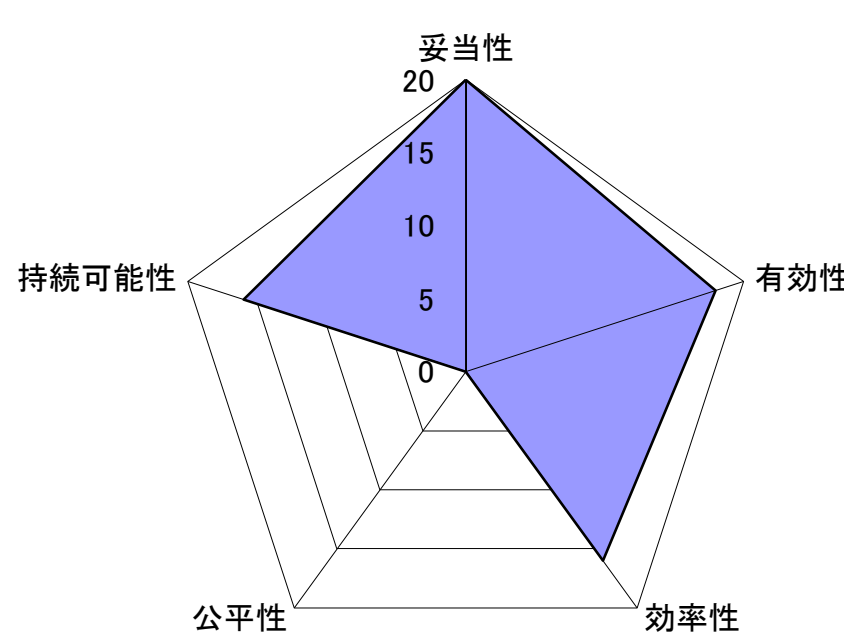
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	1086
-----	---------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりを推進するために、「北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議」を開催し、関係機関の情報共有や、連携等を検討をする役割を果たしている。</p> <p>地域医療推進懇談会については、吹田市在宅医療・介護連携推進協議会と連携しながら、在宅医療推進の環境づくり等の対応策を議論する場として、継続した開催が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)